

研 究 紀 要

進 路 指 導 部 会

第47回青森県高等学校教育研究会進路指導部会研究大会

全体講演 「探究は進路にどうつながっているか？」
大正大学 地域創生学部 地域創生学科 浦崎太郎 …… 1
教授

[第1分科会 (進学指導)]

研究発表① 「本校の進学指導について」
青森県立三本木高等学校 進路指導主事 氣仙祐禎 …… 6

研究発表② 「一人一人が輝くための ICT 活用・非活用」
青森県立青森北高等学校 進路指導主事 山本卓見 …… 13

[第2分科会 (就職指導)]

研究発表 「生徒の主体的な進路選択を促す取り組み」
青森県立八戸水産高等学校 進路指導主事 河門前 冬香 …… 16

部会の動き…………… 21

研究テーマ…………… 23

進路指導部会

全体講演

「探究は進路にどうつながっているか？」

大正大学 地域創生学部 地域創生学科 教授 浦崎 太郎

【自己紹介】

- 広島大学・大学院に在籍（1983～1989）
- 前職は岐阜県高校教員（1989～2017）
- 中央教育審議会学校地域協働部会専門委員（2015）
- 大正大学教授（2017～）
- 「自分らしく社会に参加できる若者」を育む高校への改革支援を通じた地域創生を志向し、高校と地域の協働に関する政策提言から現場への実務支援までワンストップで対応。

【地域を変えた飛騨市、浦幌町の事例】

飛騨市では、コロナ第3波の影響で観光客が激減し、商品が大量に売れ残っている状況で、地元の企業を救うために「飛騨市まるごと応援セール」を行い、市民に買い物を呼びかけた。ポイントは、これが職員の提案により実現したことだ。それができたのは、そういう職員に市長が育てたからだ。「事業の成果を報じる新聞記事を想像して書いてくるように」と指示されれば、どうすれば市民の役に立てるのか、考え抜かざるをえない。結果、職員は実際に地域住民から「ありがとう」と感謝され、喜びを実感した。こうした経験の積み重ねにより、今、飛騨市職員は必要と思うことをスピード感を持って次々と実行する力を持つに至っている。

農業社会、工業社会、情報社会と変遷する中で、今は価値創造力が求められる。北海道浦幌町の林業者は都会の企業人とタッグを組み、地元産の板材に焼き目を付けて「古材風新材」として売り出したところ、大いに利益を上げることができた。林業者が持っているノウハウとビジネスマンが持っているノウハウを組み合わせたのだ。かけ算による価値創造である。イノベーションとは今あるものをどう組み合わせるのか。

【自分は何者なのか、社会とどう関わるのか】

社会情勢の変化により、終身雇用ではなく転職が常態化してきて、自分と社会のマッチングが頻繁に求められるようになってきた。就職活動や転職に備えて常に心がけるべきことは「自分は何者」で、「社会とどう関わっていききたいか」を、説得力を持って語れる実績を築き続けることである。そんな中で、キャリアパスポートの役割は重要だ。小、中、高、大と自分の興味関心を繰り返し記録していくことで自分軸を発掘する支援が容易になる。大学入試直前に志望理由書を書く時に突然考えても書けるはずがない。（スライド11）

ここからお伝えすること

- ふまえるべき社会背景 = 転職が常態化
自分と社会のマッチングが頻繁に求められる
- 就活や転職に備えて常に心がけるべきこと
自分は何者で、社会とどう関わっていききたいか、説得力をもって語れる実績を築きつづけること
- キャリアパスポートの重要性
自分軸の発掘・確立は一朝一夕にはいかない。幼少期から試行錯誤を続け、記録に残してバトンタッチしてこそ、無理なく発掘・確立を支援できる

11

【Career Up するためには】

転職が当たり前の時代なので、キャリアアップやキャリアダウンがつきものだ。その際、ポイントとなるのは自分らしく何か挑戦して成功できたかどうかだ。就職試験や入学試験の面接で自分が取り組んできたことを語ることにわくわくするようなら何も怖いことはない。そういう経験をしているかどうかは学校によって格差があり、その違いははっきりしている。面接で挑戦を語りたくて仕方ない自分がいて、「きみ、おもしろいねえ！うちで一緒に働かない？」となれば当然内定も取れる。(スライド12)そういう人は会社に入ってからアイディアを出して活躍するし、キャリアアップもする。逆に合格さえすればいい、内定さえ取ればいいという人は本当の自分を出せずキャリアダウンするのも当然である。

実例を紹介する。私のゼミの学生は、「某県のプロバスケットボールチームに副業として携わることで若者が地元に戻り地域活性化につながるのではないか」という仮説を立て、現地で活動をしている。これは、どんなステークホルダーがいて、どんな思いを地元住民が抱いているかを知ることになり、将来コンサルティングの仕事をするのに役立つはずだ。高校で探究活動に取り組む際も、今はわからなくても「いつかはそれが自分の仕事にどのようにつながってくるかわかってくる」という感覚を持って取り組んでほしい。

もう一つの例を紹介する。旅行に興味があるという学生に旅の思い出を語ってもらくと、旅行先で食べたものの話ばかりでてくる。「ひょっとして食べ物に興味があるのでは？」と、こちらから示唆したことで、学生の本当の興味関心が明らかになった。さらに、この学生は、あるとき、「トイレのポップ広告が有効であるのではないか」と考え、このことを実証する探究活動を行った。その経験を就職試験で語り、彼はホテル業界大手に就職した。今では「新しい企画を出し、お客さんに喜んでもらいたい」と言っている。興味関心を発掘し、それを試していった先に進路が開けたということだ。

しかし、大学においてもそのような探究活動を行っている例は多くない。したがって、できれば高校段階から始めるのがよい。高校での取組例を紹介する。市立札幌藻岩高校の女子生徒が、探究活動として地元の商店街の空き店舗でアップルパイを販売した。すると近くの短大に通う学生が商店街で買い物をしていないことに気がついた。そこで彼女は商店街を「食べ歩きの日」とすることを提案して成功する。大学進学後は日曜のみ店を借りてカフェを営業したり、創作したスイーツを SNS に投稿するなど、自分の得意を社会で表現しつづけた。その流れでインスタグラムのフォロワーが 13 万人を超え、レシピ本を出版するまでになった。

なぜこんなことが可能だったのか。藻岩高校では、本気で生徒にとってためになる探究活動を考える先生たちがいた。考えたのは「持続可能な社会を作る人を育てる」ということだ。カリキュラムを紹介すると、1 年生では探究の基礎を学ぶとともに、ニセコで活動する人々にインタビューをする。そのことで多様な生き方に触れ自分軸の発見につながる。2 年生では、地域で実践する。3 年生では、持続可能な社会とは何かを考え、そこに自分はどうか参画していくのかを考える。この高校では、コロナによる学校閉鎖期間にも、地域の人に動画で語ってもらい、それを見て自分がどう地域に貢献するのかをレポートさせた。そこから探究活動が加速した。

さらに佐世保西高校の例を紹介する。平成末期の大学入試改革に合わせてそれに答えられるような教育活動を考えた。ある生徒は地域への移住促進の PR 方法を知りたいと思い、その成功例である鳥取市を訪れた。そして、鍵となるのは PR ではなく住みよい町づくりだと知った。そこで自分に何が出来るかを考え、バリアフリーの工夫を考えた。その生徒は、エンターテイメントに興味がありその関連学部に進学したが、大学では誰もが立場を超えて楽しめるようなエンターテイメントについて研究している。佐世保西高校では総合型選抜の合格者数が伸びている。また、そこで不合格となった生徒も一般選抜で多数合格している。探究か偏差値かの二元論ではない。

大学進学者の就職活動事情

～ 新・高3生は4年後に就活 / 転職は常態化 ～

- career up と career down の分岐点は何か？
自分らしく挑戦を続け、成長できたかどうか
- 就活時、どんな学生になっていけばよいか？
面接で「挑戦を語りたくて仕方ない」自分がいる
「君、おもしろいねえ！うちで一緒に働かない？」

12

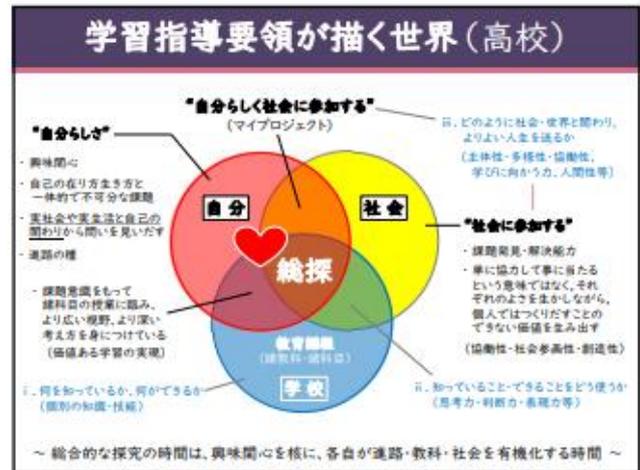
ぜひ中学校と連携して探究活動を行ってほしい。興味関心を引き出すのは大変だが、中学生は変わるのが驚くほど早く、効果が高い。

【探究, 進路, 教科】

ここからは、探究と進路と教科がつながっているという話をしていく。高校教育はこれまでも社会の変化に合わせて変化してきた。偏差値も、雇用労働志向、すなわちサラリーマンになりたいという希望があり、そのためにはいい点数をとらなければならないという考え方であった。

現在の指導要領を図式化するとこのようになる(スライド 30)。この3つ(自分, 社会, 学校)を束ねるのが総合的な探究の時間である。今、強調されているのは、「社会」の部分、何がしたいのか、同社会とかかわるのかであるが、実はこれは学校の仕事ではない。自分軸があって、そのうえで進路、

社会, 教科につながっていくようなトレーニングをするのが学校教育である。今までは同じことを全員で学んだが、そもそも興味関心が違うので学ぶことも違うという理解が大事だ。



30

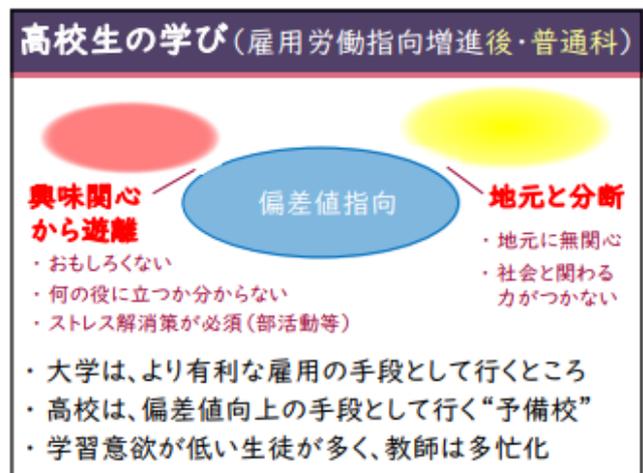
【社会の変化と教育の変化】

歴史をたどると、戦後まもなくは職業に就くため実用的な知識が重視された。その後、サラリーマンが良いとなると資格・検定が重視されるようになる。生徒の興味関心とは離れており、学校が荒れることにもなる。また、生徒のストレスを発散させ荒れるのを防ぐために部活動を利用した例も少なくない。

倉敷工業高校の生徒は「青でないデニムはできないのか」と考え、探究活動を行った。「繊維の表面だけ染めるには張力をかけるとよい」というヒントを聞いて実験を繰り返す。彼女たちは、将来自分のブランドを立ち上げたいと考えている。つまり、大事なのは生徒の好奇心なのである。これは地場産業の発展にもつながる。

次に普通科の話をする。昔は、好奇心と知識に片寄った教育が普通であった。平成に入ると予備校の講師のような(受験対策に特化した授業を行う)教師がもてはやされた。これは当時の工業社会、大量生産するためには労働者も統一規格であるのが望ましいという社会が背景にあった。(スライド 43) それではだめだということで、探究活動(総合的な学習の時間)が導入されることになった。同時に、地方では地域の活力を保つために高校魅力化が叫ばれ、総合的な学習の時間を用いて様々な活動が行われた。しかし、総合の時間を除いた授業時間は受験教科をやればよいという考えも広まる。令和に入ると学習指導要領の影響でマイプロジェクトを実施する学校も増えた。しかし、一人一人のプロジェクトに教員が係わるのは大変な負担であり、一方で受験科目とは分離されたままであった。

これからの課題は、この二つを統合していくことである。しかし、学校は元々、普遍性・机上性・思考性の高い学習活動を念頭に設計されており、個別性・現場性・行動性の高い学習活動には対応が難しい。全てを学校でやろうと思うと無理があり、地域と連携すべき必要性が高いのだ。



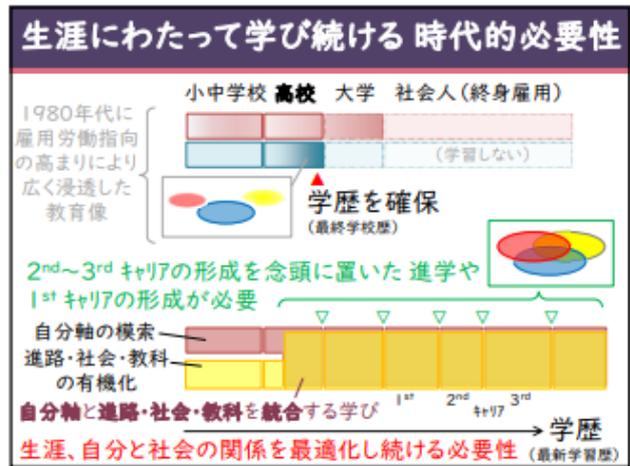
43

改めて社会の変化に触れると、かつては終身雇用のおかげで偏差値を上げていい大学に入り、会社に勤めてしまえばそれでよかった。現在は2nd キャリア、3rd キャリアが当たり前である。そこを見通して1st キャリアや大学を考えればよいのである。ドリル、ドリルで大学に入り、業者の準備してくれた、いわばベルトコンベアに乗ったような就職活動をするとうキャリアダウンにつながる。(スライド 50)

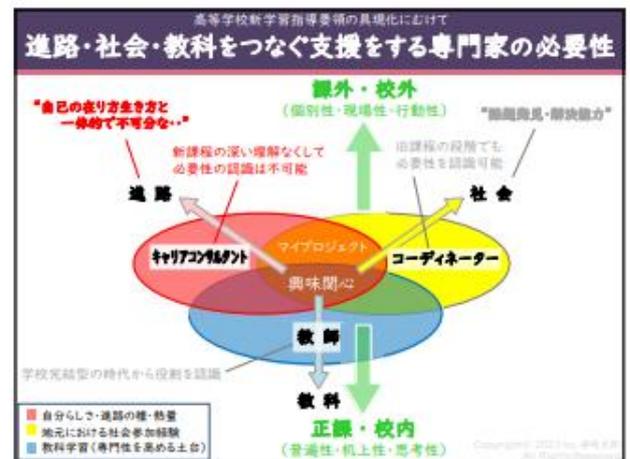
これからの学びのためには、自分軸を作ることと学びの有機化が必要である。本来は、学びの有機化は小中学校で行うべきものだが、必ずしも十分には行われていない。したがって、高校1年生では学びがつかっている状態とはどういうものかを皆で学ぶのがよい。

それと平行して自分軸を模索していくのだが、それには1年ぐらいはかかる。学びの有機化と自分軸の両方ができた状態で、高校2年生では自分の自分軸で学びを作る。それをふまえての進学であり、その経験を語るのが総合型選抜である。

既存の組織に所属するのがゴールだった頃、教員は生徒の興味関心と学問・教科をつなぐだけでもよかった。しかし今は、進路(キャリア創造)や社会ともつないでいかなければならない。ここで、社会とつなぐのはコーディネーター、進路とつなぐのはキャリアコンサルタントが適任である。教員が全てを担おうとせず、専門家の力を借りることを考慮した方がよいわけだ。(スライド 51)



50



51

【学力の重要性】

十分な学力がないと地域創生はできない。例えば「若者の流出」に関しては、現場感覚と専門家の見解をつなぐ力があれば「高校段階で価値創造力をつけることが重要」と理解できるのに対し、つなぐ力がないと「郷土愛を育めば良い」という結論になる。アカデミックな力があるかどうかは、専門家に相手にしてもらえるか見放されるかの違いでもある。私は最近、高校の統廃合が不可避な場合の代替策として、地域におけるインターナショナルな体験と、遠隔通信環境を活用した教科学習とを組み合わせる方法を提案している。ただし、それには先に述べた3つの専門性を兼ね備えた専門家の介在が要だ。

また、専門家とつながるためには共通の言語を持つていなければならない。自分たちの感覚だけでは上手くいかない。自分たちの状況を他と比べて客観視する感覚も必要だ。それを養うのが学問だ。学問的な力がないければ地域創生もできない。色々な世界とつながるための共通概念、共通言語を学ぶのが教科の学習である。教科はより広い世界とつながっていくための武器を身につける時間なのだ。

繰り返しになるが、探究の時間にアクションを起こすのはよいがそれだけで終わってはいはだめである。他の現場はどうなのか、先人はどう取り組んだのか、徹底的に調べる。これはパソコンを使ってもできる。調べ学習のように見えても、こういう意識を持って行えば効果の高い学習である。

事例を紹介する。長崎県壱岐市では、コワーキングスペースで地域の人と交流し、生徒がやりたいことをみつけ、これを高校でアカデミックな学習活動、進路につなげる試みに着手している。

探究活動をする際に大学生を利用したい場合、ワーキングホリデーのような形をとると参加したいと考える学生が必ずいる。また、長期休暇中で帰省している学生を利用する手もある。多様な大学の学生とふれあう

ことで高校生も多様な進路を考えることができる。

また、探究活動では「何をしたか」だけをゴールにせず、「探究と教科のつながりについて発表を求める」と伝え続けるのも大事である。生徒が常にアンテナを張って授業を聞くようになるし、教科で学んだことをどう生かすかを考えるようになる。教師がお膳立てするのではなく生徒に考えさせるのが大事である。

【探究活動に関連する諸問題】

東北大学の求める学生像を見ると、どのような教科指導が必要かは明らかである。一昨年の教育学部では、「外国人労働者二世への日本語教育」について出題された。東北大学がこういう問題に答えられる学生を求めているということの表れだ。このゴールを生徒と共有していなければならない。今は、学習指導要領に誠実でないと総合型選抜に合格しない時代だということだ。

静岡県立沼津東高校の生徒が東京の企業を訪れ、どんな人材を求めているか調査した。その結果は、東北大学の求める学生像とほぼ同じである。世の中が変化しており、共通の背景を持っているのだから、同じになるのは当たり前である。

一般選抜でも同様である。今年はある大学でアルミニウムカップの落下が出題された。空気抵抗を kv とするとうまくいかないが $k'v^2$ とするとうまくいく。つまり、普段の授業が探究的になっていないといけないうことである。(スライド 73) 私が授業をするなら、水平投射を徹底的に教えるが、それがゴールではなく、そこから色々な運動に応用することの必要性を教える。

次は「教える」と「学ぶ」の違いである。徹底的に教え込まないで生徒を高みに導けるのかという議論があるが、例えば、授業で自分の説明に疑問を差し挟む生徒がいたら、徹底的に議論することで理解を深めることができる。生徒が発する問いを尊重するのが探究的だということだ。探究がきちんとできていないと受験教科の学びもできない。

また、教科横断的学びは、教員が中途半端にお膳立てするより、生徒に読書を薦める方が有益だ。

探究を始める前に募集要項を読ませるのも効果的だ。どういう力が求められているかがわかり、探究に力が入るはずだ。

【教師の意識変革の重要性】

これまでのいわゆる受験ゴリゴリ型の教育と探究型の学習との違いは、エネルギー源が、教師の引っ張っていく力なのか、それとも生徒の好奇心なのかである。生徒の学習活動を全て教師のエネルギーでやってきたので、今、教師は多忙感に悩まされている。

探究を恋に置き換えるとシンプルである。無意識のうちに学校でやっているのは、ダメ男君 10 人の中から付き合う相手を選ばせ、ピクニックに行かせたり、将来を語り合わせたりすることだ。マッチングさえきちんとしてキョンとなったら、こんなことは黙っていても勝手にやる。それを学校は目指していかなければならない。やらされている探究は授業が終わるとスイッチが切れてしまうが、恋していたら 24 時間無休である。「やらされ探究」なら受験を圧迫するだけなのでやらない方がいい。「恋したテーマ」なら総合型選抜で使える。今、実績をだしている学校はそうした当事者性を大切にしている。きちんと探究ができている学校の教員は生き生きとしている。大事なことはやり方ではなく、どう考えるかだ。生徒が変わると同時に、大人が変わっていかなければならない。青森県の教育改革の成否もそこにかかっている。考え方を上手く変えていけば、教師も充実感を持って生徒と関わっていけ、生徒も学力を高め、進路希望を実現でき、その先に地域活性化もあるだろう。

探究と受験教科のつながり

● 探究は受験教科の妨げになるか?

↓

NO どころか

探究を大切に、探究と教科を有機化した先にこそ
総合型選抜や一般選抜の合格はある

(総合型選抜) 探究と教科をつなげないと解答困難
(一般選抜) 共通テストも「公式代入」では得点困難
→ 授業でも「探究的な学び」が必要
“受験教科の授業に恋するように臨む”

73

【進学系分科会】

研究発表①

「本校の進学指導について」

発表者 青森県立三本木高等学校 氣 仙 祐 禎

本校の進学指導についてお知らせいたします。本校では、毎年、卒業生の大半の進路先は、大学、短大、等への進学となります。講習や模擬試験、小論文指導など、行っていること自体は、本日お越しの各学校とあまり違いがないかとも思いますが、ここ数年の本校の実情をお伝えします。なお、この内容は、本校では、年度当初に職員間で共有しているもの（校内資料）の抜粋となります。また、これらの内容は、年度当初にスケジュール化され、「進路年間行事予定」の体裁でA3版用紙に印刷作成され、全校生徒（家庭）に4月第三週を目処に配付されています。

1 三本木高校 概要 普通科 1・2・3学年 各学年 6クラス

① 普通コース（4クラス）

1年時は共通科目を履修させ、基礎学力の充実を図る。2・3年時は適性、進路に応じて、文系・理系の二類型に分けて学習を行う。

② GSコース（2クラス）

主体的・協働的な探究活動及び表現活動を通して、文系・理系ともに深く学び、生徒の多様かつ高い進路希望を達成するための実力養成を目的とした学習活動を展開する。

2 進路状況

(1) 過去8年間

<年度別卒業生の進路状況>

卒業年度	国公立 大学	私立大	国公立 短大	私立 短大	専修 各種	予備校	就職	文科省 所管外 学校	外国 大学等	その他	大学 進学率
令和4年度	83	97	2	4	12	9	2	2	0	3	86.9%
令和3年度	115	90	1	1	12	10	2	1	0	4	87.7%
令和2年度	125	75	1	3	11	5	8	1	1	4	87.2%
令和元年度	115	78	1	5	18	7	2	0	2	4	85.8%
平成30年度	97	85	2	10	11	11	5	1	0	8	84.3%
平成29年度	98	75	6	3	19	16	6	0	0	7	79.1%
平成28年度	97	92	3	3	10	19	5	1	0	6	82.6%
平成27年度	96	85	2	9	17	16	4	2	1	4	81.4%

(2) 令和4年度卒業生

■ 国立大学

大学	学部	学科	男	女	計
北教大札幌校	教育	教員/言語社		1	1
北教大函館校	教育	国際/国際協		1	1
		国際/地域政		1	1
弘前大	人文社会	文化創生	1	1	2
		教育	学校/小学校	1	2
	学校/社会		1		1
	学校/理科			1	1
	学校/英語			1	1
	理工	物質創成化	1		1
		電子情報工	3		3
		地球環境防災	1		1
	医	医		3	3
		保健/看護学		2	2
		保健/放射線	1		1
		保健/検査技		1	1
保健/理学療		1		1	
岩手大	人文社会	人間文化		2	2
		地域政策	1		1
	理工	シス/電気電	1		1
		シス/知能メ	1		1
		シス/社会基	1		1
農	動物科学		1	1	
東北大	薬		1	1	
宮城教育大	教育	学校/初等教		1	1
山形大	工	高分子・有機	2		2
		建築・デザイ		1	1
		情報/電気電	1		1
茨城大	人文社会	法律経済		1	1
筑波大	総合理Ⅲ			1	1
群馬大	理工	物質・環境類		1	1
	医	保健/看護学		1	1
埼玉大	経済	経済		1	1
	教養	教養	2		2
	工	環境社会デザ	1		1
千葉大	園芸	食料資源経済	1		1
東京大	理科一類		1		1
東京医歯大	医	保健/看護学	1		1
東京工業大	工		1		1
富山大	工	工/応用化学	1		1
	薬	薬		1	1
山梨大	工	電気電子工	1		1
	医	看護		1	1
信州大	経法	綜合法律	1		1
静岡大	人文社会	社会		1	1
計			27	28	55

■ 公立大学

大学	学部	学科	男	女	計
はこだて未来大	システム		2		2
釧路公立大	経済	経済		1	1
		看護		2	2
青森県立保健大	健康科学	理学療法	1		1
		社会福祉	1	1	2
		栄養		2	2
		経営	1	1	2
青森公立大	経営経済	経済	2		2
		社会福祉		1	1
岩手県立大	社会福祉	人間福祉		2	2
		ソフトウ		1	1
	システム	建築環境シス	1		1
秋田県立大	美術	美術		2	2
秋田公立美大	美術	美術		2	2
前橋工科大	工	建築都市環境	1		1
高崎経大	地域政策		2		2
	経済		1		1
東京都立大	経済経営	経済経営	1		1
愛知県立大	外国語	ヨー/フラン	1		1
神戸市看護大	看護	看護		1	1
兵庫県立大	国際商経	国際/経済学		1	1
計			14	15	29

■ 私立大学

大学	学部	学科	男	女	計
札幌国際大	観光	観光ビジネス		1	1
北海道医療大	看護福祉	看護		2	2
北海道情報大	経営情報	システム情報	1		1
	情報メデ	情報メディア	1		1
青森大	社会	社会		2	2
柴田学園大	生活創生	健康栄養	2	1	3
八戸学院大	地域経営	地域経営	1		1
	健康医療	人間健康	1		1
		看護		2	2
八戸工大	感性デザ	感性デザイン		1	1
八戸工大	工	工	2		2
弘前学院大	社会福祉	社会福祉	2		2
青森中央学院大	経営法	経営法	1	2	3
	看護	看護		1	1
弘前医療福祉大	保健	看護	2	1	3
		医療/作業療	1		1
		医療/言語聴	1	1	2
岩手医大	医	医	1		1
	薬	薬	1		1
	看護	看護		1	1
盛岡大	文	日本文		3	3
		社会文化		2	2
		児童/児童教	1		1
石巻専修大	経営		3		3
	理工		3		3
仙台大	体育	健康福祉		2	2
東北学院大	文	英文		3	3
		歴史	2		2
		総合人文		3	3
	法	法律		2	2
	人間科学	心理行動科学		2	2
東北工大	工	都市マネジメ	1		1
		環境応用化	4	1	5
	ライフデ	産業デザイン	1		1
		生活デザイン		1	1
東北福祉大	総合福祉	社会福祉	2	2	4
		福祉心理		1	1
	教育	教育/初等教	3	2	5
東北医薬大	薬	薬	2		2
宮城学院女子大	学芸	日本文		4	4
	現代ビジ	現代ビジネス		1	1
	教育	教育/児童教		1	1
	生活科学	食品栄養		1	1
仙台白百合女大	人間	健康栄養		1	1
尚綱学院大	心理教育	心理学類	1		1
	健康栄養	健康栄養学類	2		2
日赤秋田看護大	看護	看護	1	2	3
東北芸術工大	芸術	歴史遺産		1	1
常磐大	看護	看護		1	1
国際医療福祉大	保健医療	看護		1	1
		言語聴覚		1	1
白鷺大	法	法律		1	1

大学	学部	学科	男	女	計
跡見学園女子大	文	人文		1	1
埼玉工大	工	情報/I T	1		1
城西大	理	数学・東京	1		1
獨協大	経済	経済	1		1
文教大	教育	学校/体育	1		1
	国際	国際理解		1	1
	人間科学	人間科学	1	1	2
		臨床心理	1		1
神田外語大	外国語	英米語		3	3
		国際/国際ビ	1		1
		イベ/ス페이	1		1
	グローバ	グローバルリ		3	3
淑徳大	人文	表現		1	1
城西国際大	看護	看護		1	1
千葉工大	工	先端材料工	1		1
		応用化		1	1
	先進工	生命科学		1	1
麗澤大	外国語	外国/英語コ		2	2
		外国/英語リ		2	2
		外国/中国語		2	2
	国際	国際/日本学		2	2
		国際/国際文		2	2
青山学院大	理工	電気電子工	2		2
亜細亜大	法	法律	1		1
	経営	経営		1	1
桜美林大	グローバ			1	1
	リベラル	人文		4	4
北里大	獣医	動物資源科学	2	2	4
	海洋生命	海洋生命科学	2		2
共立女子大	家政	児童		1	1
杏林大	外国語	観光交流文化		1	1
慶応大	理工	学門B	1		1
実践女子大	生活科学	食生/管理栄		1	1
芝浦工大	デザイン	デザ/生産ブ	1		1
専修大	法	法律	1		1
	経営	経営	1		1
	経営	ビジネスデザ	1		1
	人間科学	社会		2	2
大東文化大	社会	社会		5	5
	スポーツ	スポーツ科学		4	4
玉川大	経営	国際経営	1		1
中央大	法	法律	1		1
	経済	経済		1	1
	国際経営	国際経営	3		3
帝京大	医療技術		1		1
東海大	国際文化	地域創造	1		1
	工	電気電子工	1		1
		航空/航空宇	1		1
	体育	競技スポーツ	1		1
東京家政大	家政	服飾美術		1	1
東京経大	キャリア			3	3
東京工科大	応用生物	応用/生命科	1		1

大学	学部	学科	男	女	計
東京電機大	工	電気電子工	1		1
		応用化		1	1
	理工	理工/生命科		1	1
東京農大	国際食料	国際農業開発		1	1
		食料環境経済	2	1	3
		アグリビジネ		1	1
	地域環境	造園科学		5	5
	農	デザイン農		2	2
	生物産業	食香粧化 北方圏農		2 1	2 1
東京理大	創域理工	生命生物科学	1		1
東洋大	社会	社会心理	1		1
日本大	経済	経済	1	1	2
		経営	1		1
	商	商業	1	1	2
	理工	航空宇宙工	1		1
日本体育大	体育	体育		2	2
法政大	経済	経済	1		1
		社会政策科学	1		1
	社会	社会	1		1
	現代福祉	臨床心理		2	2
	理工	電気電子工 創生科学	1 1		1 1
武蔵野大	生命科学	応用植物科学	1		1
	人間科学	人間科学		1	1
	データサ 工	データサイエ 数理工	1 1		1 1
明治大	法	法律		1	1
	経営			1	1
	国際日本 農	国際日本 食料環境政策	1 1		1 1
明治学院大	文	英文		1	1
	心理	教育発達		1	1
明星大	人文	人間社会	1		1
		日本文化	1		1
	経済	経済	1		1
立正大	文	文/日本語日		1	1
		文/英語英米		1	1
	心理	対人・社会心	1		1
早稲田大	文	文学		1	1
	商			1	1
	人間科学 基幹理工	人間環境科学 学系II	1 1		1 1
神奈川大	法	法律	1		1
	経済	現代ビジネス	1		1
	経営	国際経営	1		1
	国際日本 理	国際文化交流 理/生物	1 1		1 1
神奈川工科大	工	機械/航空宇	1		1
相模女子大	学芸	子ども教育		1	1
産業能率大	経営	マーケティング	1		1
湘南工科大	工	機械工	1		1

大学	学部	学科	男	女	計
桐蔭横浜大	医用工	臨床工		1	1
		生命医工		1	1
	スポーツ	スポーツ健康		1	1
フェリス女大	国際交流	国際交流		1	1
金沢工大	工	航空シスエ	1		1
愛知大	経営	経営		1	1
名古屋外大	外国語	フランス語	2		2
京都産業大	経済	経済	1		1
同志社大	文化情報	文化情報	1		1
ノートルダム大	現代人間	生活環境		1	1
		こども教育		1	1
立命館大	経済	経済/経済	2		2
	経営	経営	1		1
	食マネジ	食マネジメン	1		1
関西医大	リハビリ	理学療法	2		2
立命館アジア大	国際経営		1		1
防衛大学校		理工		1	1
防衛医科大学校		看護/自衛官		1	1
計			110	154	264

■ 短期大学

大学	学部	学科	男	女	計
岩手県大盛岡短		生活/食物栄	1		1
山形県米沢女短		英語英文		1	1
山形県米沢女短		国語国文		1	1
会津大短大部		食物栄養	1		1
会津大短大部		幼児教育		1	1
大月短		経済	1		1
国学院北海道短		総合教養	1		1
青森明の星短		子ど/保育		2	2
青森中央短		幼児保育		1	1
弘前医療福祉短		救急救命	1		1
仙台青葉学院短		こども		1	1
計			5	7	12

■ 専門学校等

学校	男	女	計	
札幌医技福歯専		1	1	
北海道情報専門学校	1		1	
神田外語学院		1	1	
日本工学院専門		1	1	
日本外国語専門	1		1	
横浜医療附看護		1	1	
盛岡外語観光&ブライダル専門学校		1	1	
大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校	1		1	
C P A 会計学院	1		1	
北日本ハイテクニカルクッキングカレッ	1		1	
東北電子専門学校	1		1	
仙台スクールオブミュージック&ダンス	1		1	
アレック情報ビジネス学院	1		1	
メリーランド大		1	1	
計		8	6	14

3 進学指導関係

(1) 長期休業中の講習, 放課後講習について

①夏期講習

- ・高校1学年, 高校2学年は7日程度, 高校3学年は15日程度の講習を行う。
- ・企画運営は当該学年。
- ・高校1学年, 高校2学年は, 1コマ50分の4コマ。
- ・高校3学年は, 1コマ50分の6コマ。

②冬期講習

- ・各学年とも7日程度の講習を実施。実施方法については, 夏期講習に準じる。

③放課後講習

- ・高校3学年の生徒を対象に, 県高校総体後から実施。
- ・1コマ50分で2コマを上限とする。
- ・開講講座は原則として理科, 地歴公民。

(2) 模擬試験について

高校1学年	高校2学年	高校3学年
7月 進研記述模試	7月 進研記述模試	4月 進研4月記述
7月 第2回全統高1模試	7月 第2回全統高2模試	6月 進研6月マーク
11月 進研記述模試	<u>10月 駿台高2全国模試</u>	7月 進研7月記述
1月 進研記述模試	11月 進研記述模試	8月 第2回全統マーク
<u>2月 駿台記述模試</u>	1月 進研記述模試	8月 第2回全統記述
	<u>1月 駿台高2模試または</u>	<u>8月 代ゼミ大学別OP</u>
	<u>第3回全統高2記述模試</u>	9月 駿台進研マーク①
	2月 共通テスト模試	10月 駿台進研記述②
		10月 第3回全統記述
		<u>10月 全統大学別OP</u>
		10月 駿台進研マーク③
		<u>11月 駿台実戦模試②</u>
		11月 全統プレテスト

斜字 は希望者対象で実施する模擬試験

(3) 学校推薦型選抜, 総合型選抜について

推薦委員会開催計画について

回	開催日	対象となる大学等
1	7月10日(月)	国公立大学・私立大学(9月出願)
2	8月21日(月)	国公立大学・私立大学(10月出願)
3	9月15日(金)	私立大学指定校
4	9月25日(月)	国公立大学・私立大学(11月出願)
5	10月20日(金)	国公立大学(共通テスト利用型)

※指定校の生徒への開示は夏季休業明けとする。

(4) 難関大学受験者への指導について

東京大学や京都大学などの超難関大学、東北大学をはじめとする難関大学への指導は、進路指導部と学年が主体となって学校全体で指導。

①難関大学受験者への意識付け

- (ア) 難関大学希望者へは、早期から主体的な学習をするための意識付けを行う。
- (イ) 難関大学希望者の母集団づくりを、学年が主体となって高校1学年の早い時期からスタートさせる。
- (ウ) 難関大学希望者集会は、第1回目を高校1年時で行う。また、生徒の状況を見て適宜集会を開催する。

②難関大学向けの教科指導

- (ア) 教科指導（英語、国語、数学）は、高校1学年の後期から。理科、地歴公民については、授業の進度にあわせて開始。
- (イ) 1, 2年時の教科指導については、生徒が学業も部活動も両方取り組めるように配慮して行う。

(5) 進路検討会について

①開催時期

- 高校2学年：後期末考査期間
- 高校3学年：第1回 前期中間考査期間
第2回 後期中間考査期間
第3回 大学入学共通テスト後の最初の土曜日

②各検討会での目的

- 高校2学年：学年の進路指導における方向性および現在の志望状況の確認。
- 高校3学年
 - ・第1回：総合型選抜、学校推薦型選抜の希望者確認。
 - ・第2回：模試結果から、大学入学共通テスト後の国公立大学へ出願の検討。
 - ・第3回：大学入学共通テストの結果を踏まえた出願検討会。

(6) 小論文指導について

①各学年での実施項目

学 年	指 導 項 目
高校1学年	① 小論文の基礎の習得 ② 小論文模試 ③ 小論文講演会 ④ リピート演習
高校2学年	① 小論文模試 ② 小論文講演会 ③ リピート演習 ④ 志望理由書の指導
高校3学年	① 社会問題に対する知識の蓄積 ② 小論文実戦

②指導体制について

- (ア) 全体指導は学年主導で行う。
- (イ) 受験における小論文指導については、進路指導部が募集し、指導を希望する生徒に対して、担当教員を配置する。なお、募集時期は進路指導部から別に連絡する。

(7) その他

①キャリア教育関連

- ・進路講演会【対象学年：全校】 R5は6月26日(月)
 - ・大学の模擬講義【対象学年：高校2学年】 R5は9月5日(火)
 - ・職業人講話【対象学年：高校1学年】 R5は10月4日(水)
- 進路指導部が主体となり計画する。

②「三本木メソッド」

外国語科の英語科目『コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』では、教科書・教材・教具・指導方法等の共通理解・統一をはかり授業実践している。

英検準1級合格者がR2は8名、R3は14名であり、受験に際して国公立大学の二次対応力などへの向上や、加点などにも影響があったと考える。

③進路指導刊行物

毎年、年度当初に作成の上、全校生徒に配付している。

- ・『進路指導資料』 …… 前年度卒業生全体の進路実績や関連資料。
- ・『登音』(あしおと) … 前年度卒業生(一部)の受験合格体験記。1年生時からの進路実現への取り組みなどを掲載。

④進路YouTubeチャンネル

YouTubeチャンネルを開設し、進学に関する内容(大学・学部・学科選び、出願について)などの1本3分程度の動画を12本アップしている。

以上が、本校で行っている進学を主とした進路実現への取り組みの主なものになります。本校は、“重点校”としての立場でもあり、地域の要請と期待に応えるべく、今後とも務めを果たしていきたいと考えます。

研究発表②

「一人一人が輝くための ICT 活用・非活用」

青森県立青森北高等学校 進路指導主任 山本 卓見

1 はじめに

文科省の「GIGA スクール構想」により「生徒 1 人 1 台端末」となった現在, ICT 化が加速している。本県の状況と本校の取り組み事情について考察する。

2 本県の「進路指導における ICT を活用した取組」状況

(R5 年度高等学校進路指導主事研究協議会の資料から)

(1) オンライン会議ツールの活用

①ツール・・・ZOOM, Google Meet, Microsoft Teams

②用途

- ・外部講師 …進路講演会, セミナー, 大学模擬講義, 進路ガイダンス
オンライン講習, 座談会, ビジネスマナー講座
- ・大学との連携 …オープンキャンパス, 大学生との交流, 学校説明会
- ・校内での活用 …進路ガイダンス, 共通テスト出願指導
- ・企業 …オンライン説明会, 懇談会, 企業見学会
- ・受験への対応 …志望理由書, 小論文, SPI 講座, 公務員講座
進学・就職の面接試験
- ・教員対象 …教員向けセミナー, 入試説明会

(2) Google Workspace for Education の導入

(3) 各種アプリ, ソフト別の活用例

- ・ZOOM (Web 会議ツール)
…進路ガイダンス, 面接練習, 面接試験, 三者面談
- ・Classi (教育 ICT サービス)
…志望理由書, 個別指導, 学習時間調査, 進路志望調査, 進路情報提供
アンケート, 記録や振り返り, ポートフォリオ
- ・ClassiNOTE (双方型授業支援ツール)
…授業, 講演会資料, 面接練習, 添削指導
- ・進研模試デジタルサービス (学力と学習習慣の定着を支援する, WEB サービス)
…進研模試/ベネッセ総合学力テスト
- ・Google Meet (テレビ会議アプリ)
…面接練習, 志望理由書講座
- ・Google ドキュメント (ワープロアプリ)
…志望理由書
- ・Google Classroom (学習支援アプリ)
…小論文添削指導, 志望理由書, 面接指導, 作文提出, 合格体験記
学習支援, 総探グループ活動, 進路に関する伝達事項

求人票閲覧, 受験報告書, 進路志望調査

※メモアプリで書類スキャン

- Google フォーム (アンケート作成アプリ)
 - …共通テスト自己採点, 模試自己採点, 進路志望調査, アンケート・集計
指導要録情報収集
- Google ジャムボード (付箋紙アプリ)
 - …ディスカッション
- Google スライド (プレゼンテーションアプリ)
 - …スライド制作
- スタディアアプリ (WEB 学習サービス)
 - …講義動画視聴, ポートフォリオ機能, 進路志望調査, 保護者向け情報提供
課題配信
- 進路パソコン (生徒用)
 - …Web 出願, 就職・進学試験, 求人閲覧
- マナビ講義動画 (講義動画サイト)
 - …高校生スキルアッププログラムへの活用
- マナビジョン (進路・進学応援サービス)
 - …ポートフォリオ
- YouTube (オンライン動画共有プラットフォーム)
 - …進路情報の提供, 進路サイトの設置
- 電子黒板
 - …進路ガイダンス
- PDF 化
 - …受験報告書
- Handy 進路指導室 (求人票デジタル共有システム)
 - …求人票管理
- メタモジ (授業支援アプリ)
 - …求人票配信
- ロイロノート (クラウド型授業支援アプリ)
 - …授業, アンケート, 情報提供, 受験体験記閲覧

(4) 主な用途別による各種アプリ, ソフト等の活用例 (頻度順)

①アンケート

…Google フォーム, ロイロノート, Classi

②進路志望調査

…Google フォーム, Classi, Google Classroom, スタディアアプリ
ロイロノート

③小論文・志望理由書指導

…Google Classroom, Google ドキュメント, Classi

④面接指導

…ZOOM, Google Meet, ClassiNOTE

⑤進路情報発信（生徒・保護者）

…Google Classroom, ロイロノート, Classi, スタディサプリ, YouTube

⑥求人票閲覧

…Google Classroom, Handy 進路指導室, メタモジ

3 本校の取り組み

(1) R3年度

- ・ 7/ 1 校内研修会①（講師：高校教育課指導主事）
「授業における ICT 活用」
- ・ 7/20 校内簡易研修会（講師：本校教員）
「Google Classroom を活用した総合型・学校推薦型の指導」
- ・ 11/10 校内研修会②（講師：本校教員）
「Google Workspace の基本的な活用方法」
- ・ 12/ 8 ICT 先進校視察（本校教員 5 名）東北学院中学・高等学校
- ・ 3/ 6 校内研修会③（講師：本校教員）「電子黒板の操作方法」

(2) R4年度

- ・ 5月 簡易研修会 ～志望理由書添削×GWS～
- ・ 6月 第1回 ICT 活用研修会 ～教科別分科会～
ICT ポータルサイト（Google サイト）運用開始
- ・ 10月 ICT 先進校視察 仙台第三高等学校
- ・ 11月 第2回 ICT 活用研修会 ～探究学習×ICT～
校務情報共有サイト（Google サイト）運用開始
- ・ 12月～3月
青北 ICT 活用事例集作成

(3) R5年度

- ・ 5月 教員研修（講師：本校教員）
～総合型選抜・学校推薦型選抜における志望理由書指導～
- ・ 9月 ～職員会議, 職員朝会 完全ペーパーレス化

4 おわりに

今回の調査で, ICT 活用は進路指導の分野においても多くの可能性があることを知った。「ICT 環境の整備は手段であり目的ではない」という前提がありながらも, 導入や運用を加速している時代に置かれては, 新しいものに臆せず, 積極的に挑戦する教員の姿勢が子どもたちの可能性を広げることは確かであろう。

【 就 職 系 分 科 会 】

研究発表

「生徒の主体的な進路選択を促す取組」

青森県立八戸水産高等学校 進路指導主事 河門前 冬 香

1 本校の特色

本校は青森県唯一の水産・海洋系高等学校として、3つの本科と2つの専攻科を設置し、「有為な社会人, 明るくたくましい水産人の育成」を目標に特色ある教育活動を展開している。

本科に設置されているのは、海洋生産科、水産食品科、水産工学科の3学科である。

このうち海洋生産科では船舶や航海について学ぶ航海システムコースと、栽培漁業について学ぶ漁業システムコースとからなり、水産関連のスペシャリストを養成している。水産食品科では食品の製造・管理・流通などのスペシャリストを養成している。水産工学科では船舶や工場の心臓部である機関を中心に電気理論や機械設計などについても学び、総合的なエンジニアを養成している。この中で、海洋生産科と水産工学科が、実習船「青森丸」で約2ヶ月半の国際航海実習を行う。

海洋生産科・水産工学科からは、上級海技士免許を取得し将来の船長・機関長を目指す、2年課程の専攻科に進学することができる。

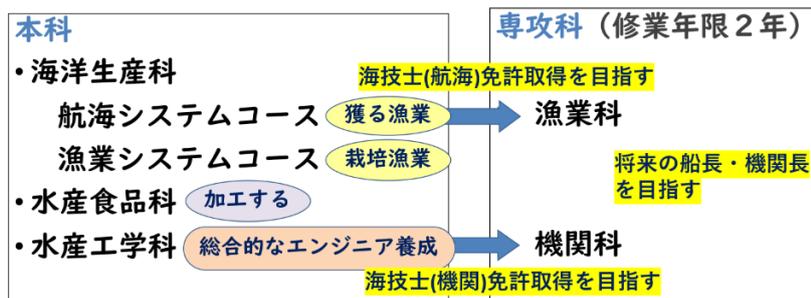


図1 本校の設置学科

2 本校の進路状況

(1) 令和4年度の状況

昨年度の本科卒業生のうち52%が就職し、48%が進学した。本校の場合、例年であれば就職者が全体の6割から7割を占めていた。全国的な傾向と同様に、高卒後に進学する割合が増えてきていると言える。就職者の内訳を見ると、漁船などの船舶や家業に従事する者を含めて、県内就職が就職者全体の7割を占めた。

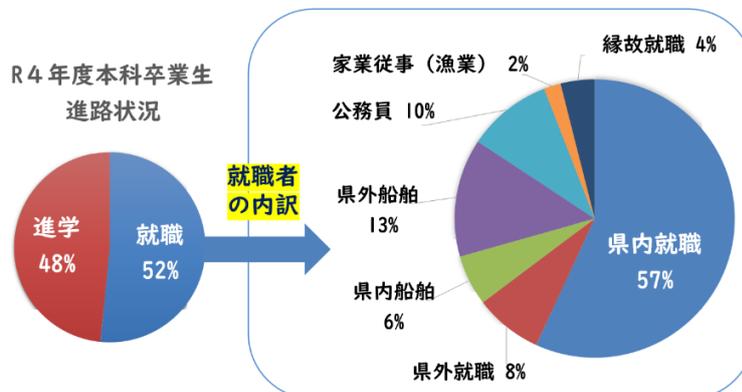


図2 令和4年度の進路状況

(2) 令和5年度の状況

今年度の3学年生徒は、就職希望者と進学希望者の割合が半々となった。昨年度と同様に就職希望者のうち7割が県内就職を希望している。(図3)

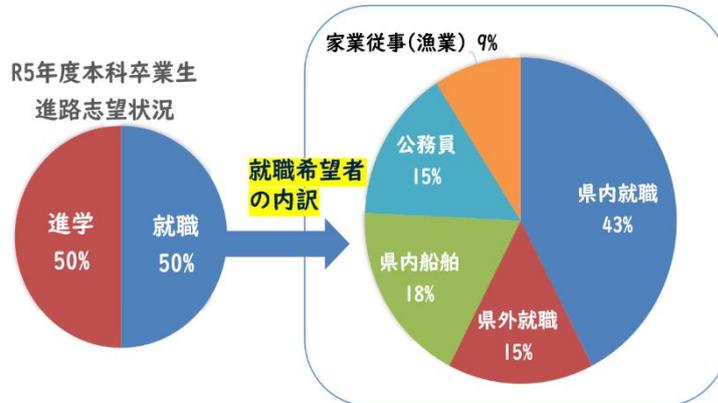


図3 令和5年度の進路状況

ただし職種別に見てみると、漁業に従事することを希望する生徒の割合が昨年度よりも大幅に増加している。(図4)

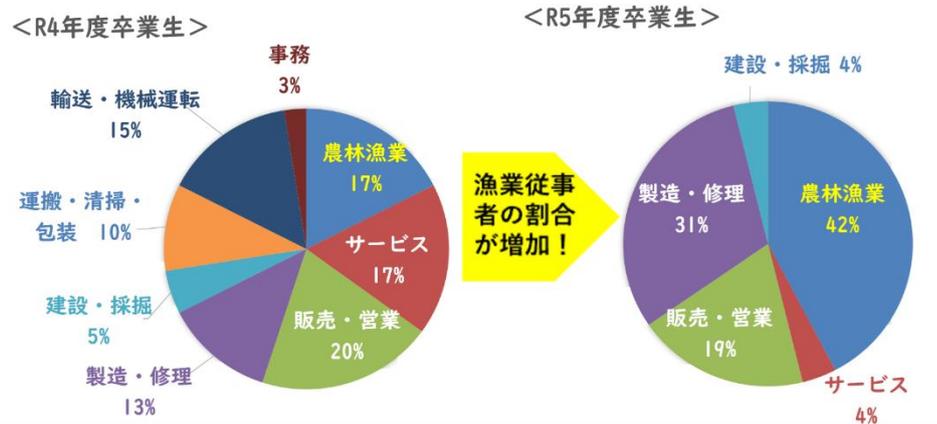


図4 就職(希望)者の職種別内訳の推

そこで、「卒業生数」に対する「漁業従事者数」の割合の推移を直近の5年間でグラフにしてみると、令和4年度が令和3年度に比べて減少しただけで、年々緩やかに増加していることがわかった。(図5)

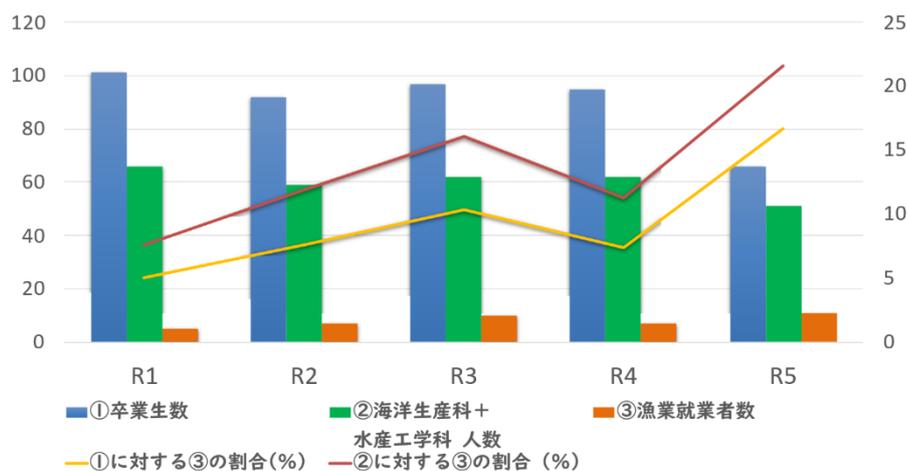


図5 卒業生数に対する漁業従業者数の割合の推移

ここで特筆すべきは、昨年度も今年度も、実習船「青森丸」での国際航海実習を経て、漁業に魅力を感じ漁師になることを決心した生徒が見られたことである。一方で、国際航海実習で海洋環境について深く学ぶために大学進学を決意した生徒もいた。また、国際航海実習を行わない水産食品科の女子生徒が、2泊3日の体験航海で船の仕事に興味を持ち、マリン・アテンダントの職に就いたり、航海士になるために進学したりした例もあった。このように、本校ならではの豊富な体験が生徒の進路決定に影響を及ぼしていることが見て取れる。

3 進路指導における課題

前述のように、本校ならではの豊富な体験により、生徒個々の進路の方向性が決まっていくのであるが、いざ3年生となり実際に就職活動をするときに、「志望動機が書けない」と生徒に相談されることが何度かあった。驚いたことに、過去に本校からの入社実績があり、先生や先輩から勧められて受験することにしたので、自分でその企業のことをよく調べていないと言い出す生徒もいた。したがって、本校の進路指導における課題として、豊富な体験により方向性は決まっても、そこから生徒個々の進路活動および進路選択が受け身になりがちであるということがあげられる。

本校は専門高校であるため、専門性を突き詰めスペシャリストを養成することを目標としているが、ともすれば視野が狭くなりがちである。人は何かを選択しなければいけないとき、知っている物事の中からしか選択できない。視野が狭く、選択肢が限られている場合は、受け身の選択になりがちである。職業を選ぶときにその状態であれば、もし離職したときに次の選択肢が見つからないことも考えられる。

視野が広く、選択肢が多い場合は、条件を比較検討する過程を通して主体的な選択が必要になり、「自分で決めた進路」という意識が高くなる。専門的な職業に就く場合でも、他の職業のことについて知っていれば自らが社会の中で果たしている役割が分かるので、仕事にやりがいを見いだすことができ、さらなるキャリアアップにつながる。離職した場合であっても、より自分にあった選択をし直すことができるので、キャリアアップすることができる。

以上のように仮説を立てると、生徒個々が「受け身の進路選択」から脱却し、「主体的な進路選択」ができるようにするためには、生徒の「視野を広める」と「主体的に探究する力を身に付ける」ことが必要であると考えられる。そのために、本校で例年実施してきた進路行事をより意味のあるものに改善し、新しい取組も取り入れていくこととした。

4 課題解決への取組

生徒個々が「主体的な進路選択」をする力を養うために、本校では1・2学年で視野を広げるための進路行事と、探究力を養うための活動や進路行事をバランスよく実施し、ただ体験するだけでなく事前事後指導に力を入れるようにしている。(図6)

(1) 1学年での取組

1学年では今年度から総合的な探究の時間に「あおり創造学」を取り入れ、1人1課題で地域課題の探究に取り組むことで、地域社会に貢献する意欲を醸成し、自己の興味・関心と進路を結びつけた上で、2学年で実施するインターンシップの事前指導を開始する予定である。

(2) 2学年での取組

インターンシップは生徒個々が目指す職業、興味・関心のある職業を自



図6 生徒の主体的な進路選択を促す取組 (1・2学年)

ら体験し、その社会的役割について探究する貴重な機会と捉え、2学年全員で実施している。今年度は、より学科の特性や個々の進路希望に即した実習先の開拓に力を入れ、八戸市内の漁業会社2社や地元漁業組合が運営する施設などでも実習させていただいた。

また2学年では、多様な地元企業を知り視野を広めながら地域産業について探究する取組として「デーリー東北リクルートラウンジ」企業内容説明会へ参加した。この催しは、地域を代表する45社の企業がブースごとに生徒と面談するもので、生徒1人が3社の説明を聞くことができる。参加後は自分が面談した企業の説明内容をレポートにまとめ、学年全体に共有する事後指導を行った。国際航海実習のため参加できなかった水産工学科にも、Google Classroomを利用して情報共有する予定である。2学年では今後、学科の特性に即した企業について探究する取組としての「バスによる企業見学」と「卒業生による進路講話」を実施する。

(3) ICTを活用した取組

またICTの活用により生徒への情報提供の仕方を工夫し、詳しい情報を自分で調べるように導く仕組みを構築し実践する取組を考えた。その目的は、多くの情報の中から正しい情報を収集し、自身にとって最善の選択は何であるか検討し決定し、目標達成のために自身に何が必要であるか考え行動する力を育むことである。

このICTを活用した取組については、本校の大学進学希望者で実際に効果があつたものである。数年前まで本校の生徒は、大学といえば本校から進学実績がある地元の私立大学と東京海洋大学しか知らない状態であつた。特に大学の水産・海洋系学部進学を目指す生徒は、自分でよく調べることなく名前を知っている大学として、進路希望調査に「東京海洋大学」と書いてくる傾向があつた。他にも調べることができるはずだが、生徒は多くの情報の中から必要な情報を調べる方法も知らない状態であつた。既存の検索サイトで学部学科を調べるにしても、専門高校（その中でも水産に関する学科）向けの入試制度の有無まで生徒が調べ上げることは困難である。そこで、「本校から受験の考えられる大学一覧」として専門高校向けの入試制度がある大学・学部・学科をリストアップし、学部ホームページへのリンクを付けたPDFファイルを進路希望調査とともにGoogle Classroomで配信した。すると、大学進学希望の生徒は、リスト内のホームページへのリンクから多様な大学の学部のことを調べ、その内容まで見て進路希望調査に大学名を書いてくるようになった。実際に今年度の3年生は、本校から受験実績のない大学を含め、多様な大学を受験する予定である。

以上のような進学希望者へのアプローチにより、生徒・保護者はデジタルで提供された情報を想定以上に見てくれること、ファイルにリンクがあれば、そこから自分で情報収集してくれることが分かった。この手法を就職希望者にも適用できないだろうか考えた結果、求人票管理システムを導入することにした。

無料の求人票管理システムについては、大量に届く求人票を処理する教員の負担軽減という面で昨年度から注目していた。しかし今年度導入に至った決め手は、教員以上に生徒にとってのメリットが大きいと判断したことにある。システムの導入により、生徒は各自の情報端末を使い専用サイトから求人票を閲覧することが可能になった。家庭で求人票を保護者と一緒にじっくり見ることができ、勤務地や職種で絞り込み検索することもできる。また、掲載情報の中に企業ホームページのURLもあり、そのリンクを開くだけで企業ホームページまで閲覧可能になった。この機能により、高校生が情報収集するときによくある問題を解決できることになった。その問題とは、高校生がスマートフォン利用はSNSが中心であり、公式なホームページまで調べる習慣がないことである。SNSによる情報収集では、誤った情報を取得したまま気付かないことがあり、過去には生徒が履歴書の志望動機に誤って同業他社の企業理念を書いてしまった例があつた。

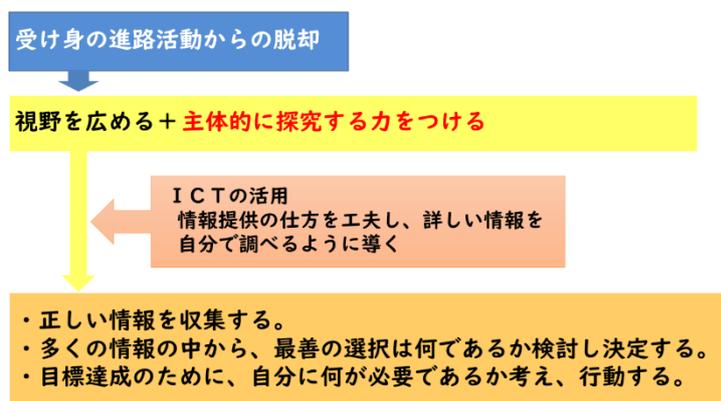


図7 ICTを活用した生徒の主体的な進路選択を促す取組

以上のように、求人票管理システムは生徒自身の積極的な就職活動を支援するとともに、正しい情報収集の仕方として公式ホームページを調べる習慣を付けることができるため、生徒にとって有用な機能を備えたシステムであると判断し導入した。そして実際に水産関係以外の多様な就職先を求める生徒の就職活動に活用され、効果を上げている。

5 終わりに

生徒たちは今後、変化が激しく予測困難な時代を生きることになる。そのために、多くの情報の中から正しい情報を収集し、自身にとって最善の選択は何であるか検討し決定し、目標達成のために自身に何が必要であるか考え行動する力が必要になるだろう。そのような時代を生き抜く人材を育成するために、進路指導も既存の枠組みにとらわれず、柔軟な思考で常にアップデートしていきたい。

部 会 の 動 き

令和5年4月～令和6年3月

1 第1回代表者会議並びに専門委員会

5/19(金) 青森市 アピオあおもり

代表者会議

- (1) 令和4年度庶務報告・決算報告
- (2) 令和5年度事業計画案・予算案：原案通り承認
- (3) 役員改選 部会長：清川 和幸（八戸東高校校長） 副部会長：佐藤 努（八戸工業高校校長）
進学指導専門委員長：堀籠 充（八戸東高校） 就職指導専門委員長：四戸 久貴（八戸工業高校）
理事 16名（地区責任者を含む） 監事 2名

進学・就職専門委員会：アンケート回答を元に各校で情報交換

2 東北地区高等学校進路指導協議会第1回各県会長・事務局長会議

5/31(水) 盛岡市 アイーナ 岩手県民情報交流センター 部会長・事務局長出席

3 全国高等学校進路指導研究協議会理事会

7/27(木) 東京都 国立オリンピック記念青少年総合センター 部会長・事務局長出席

4 全国高等学校進路指導研究協議大会

7/28(金) 7/29(土) 東京都 国立オリンピック記念青少年総合センター 事務局長参加

5 第47回高教研進路指導部会総会及び研究大会

9/14(木) 青森県総合社会教育センター

参加者 84名（進学系 48名・就職系 36名） 外部講師 3名
研究テーマ 「『生き抜く力』を育む進路指導・キャリア教育の在り方」

全体講演 「探究は進路にどうつながっているか？」

講師 大正大学 地域創生学部 地域創生学科教授 浦崎 太郎 氏

第1分科会（進学指導）

分科会別講演 「令和5年度入試と新課程から見る進路指導の未来

～課題先進エリアから課題解決先進エリアへ～

講師 (株)ベネッセコーポレーション 学校カンパニー 東日本教育支援推進部
エリア事業推進本部 東北地区学校事業統括責任者

張 乙清 氏

研究発表① 「本校の進学指導について」

三本木高等学校 氣仙 祐禎

研究発表② 「一人一人が輝くための ICT 活用・非活用」

青森北高等学校 山本 卓見

第2分科会（就職指導）

分科会別講演 「高校生の就職準備 ～素敵な未来を迎えるために～」

講師 横関信太郎事務所代表/株式会社ライセンスアカデミー進路指導顧問役

横関 信太郎 氏

研究発表 「生徒の主体的な進路選択を促す取り組み」

八戸水産高等学校 河門前 冬香

6 東北地区高等学校進路指導協議会研究大会 福島大会

9/21(木)、22(金) 盛岡市 アイーナ 岩手県民情報交流センター

部会長・事務局長参加

7 東北地区高等学校進路指導協議会研究大会 福島大会

10/13(金) 福島県福島市 ホテル福島グリーンパレス

部会長・事務局長参加

8 東北地区高等学校進路指導協議会第2回各県会長・事務局長会議

10/13(金) 福島県福島市 ホテル福島グリーンパレス

部会長・事務局長出席

9 新規高等学校卒業者就職問題会議（予定）

2/2(金) 東京都 中央合同庁舎

10 第2回代表者会議並びに専門委員会（予定）

2/19(月) 青森県観光物産館アスパム

代表者会議：令和5年度庶務報告・会計中間報告・ローテーション確認

進学・就職専門委員会：アンケート回答を元に情報交換

研究テーマ

紀要No.	年度	研究テーマ	会場	会員数 (一・二希望計)	大会参加数	大会発表者数
54	21	‘生きる力’を育む指導はいかにあるべきか	青森県総合社会教育センター	200	113	6
55	22	新学習指導要領を視野に入れたキャリア教育の充実	八戸プラザホテル	229	会員 115 全体 175	6
56	23	『生きる力』を育む進路指導はいかにあるべきか	青森県総合社会教育センター	239	105	6
57	24	『生きる力』を育む進路指導はいかにあるべきか	青森県総合社会教育センター	226	105	6
58	25	『生き抜く力』を育む進路指導はいかにあるべきか	青森県総合社会教育センター	203	113	6
59	26	『生き抜く力』を育む進路指導はいかにあるべきか	青森県総合社会教育センター	209	110	6
60	27	『学び続ける』社会で生き抜く力を育む進路指導の在り方	青森県総合社会教育センター	209	140	6
61	28	『生き抜く力』を育む進路指導はいかにあるべきか	青森県総合社会教育センター	234	97	6
62	29	『生き抜く力』を育む進路指導はいかにあるべきか	青森県総合社会教育センター	224	94	6
63	30	『生き抜く力』を育む進路指導はいかにあるべきか	青森県総合社会教育センター	221	104	6
64	元	『生き抜く力』を育む進路指導はいかにあるべきか	青森県総合社会教育センター	223	113	6
	2	中止	-	-	-	-
65	3	『生き抜く力』を育む進路指導はいかにあるべきか	オンライン	203	83	4
66	4	『生き抜く力』を育む進路指導・キャリア教育の在り方	オンライン	187	会員 50 全体 82	6
67	5	『生き抜く力』を育む進路指導・キャリア教育の在り方	青森県総合社会教育センター	185	84	6

